

CLIPPEDIMAGE= JP363296560A  
PAT-NO: JP363296560A  
DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 63296560 A  
TITLE: FACSIMILE EQUIPMENT

PUBN-DATE: December 2, 1988

INVENTOR-INFORMATION:

NAME  
MORI, NAOKI

ASSIGNEE-INFORMATION:

|          |         |
|----------|---------|
| NAME     | COUNTRY |
| NEC CORP | N/A     |

APPL-NO: JP62132266

APPL-DATE: May 28, 1987

INT-CL\_(IPC): H04N001/32

ABSTRACT:

PURPOSE: To contrive the simplification of the designation of a dial number of destination by providing a function to read bar code information of a part other than a header sheet or an original.

CONSTITUTION: The facsimile equipment is provided with a bar code read section

1 reading a bar code being the result of coding a dial number of the

destination from the original or a part other than the header sheet without

scanning the original or the header sheet, a dial number decoding section 2

decoding the read bar code information and converting it into dial number

information, a dial number storage section 3 storing the dial number

information and a dial signal generating section 4 extracting the stored dial

number information and outputting a dial signal to an external line, and a bar

code is printed in advance on a telephone directory or the like. Thus, the

dial number of the other party is designated very simply without any error.

COPYRIGHT: (C)1988,JPO&Japio

## ⑱ 公開特許公報 (A) 昭63-296560

⑲ Int.CI.<sup>1</sup>  
H 04 N 1/32識別記号  
厅内整理番号  
L-6940-5C  
F-6940-5C

⑳ 公開 昭和63年(1988)12月2日

審査請求 未請求 発明の数 1 (全3頁)

㉑ 発明の名称 ファクシミリ装置

㉒ 特願 昭62-132266

㉓ 出願 昭62(1987)5月28日

㉔ 発明者 森 直樹 東京都港区芝5丁目33番1号 日本電気株式会社内

㉕ 出願人 日本電気株式会社 東京都港区芝5丁目33番1号

㉖ 代理人 弁理士 熊谷 雄太郎

## 明細書

## 1. 発明の名称

ファクシミリ装置

## 2. 特許請求の範囲

相手先のダイヤル番号が符号化されているバーコード情報を原稿あるいはヘッダーシートを走査することなく原稿あるいはヘッダーシート以外の部分から読み取り電気信号に変換するバーコード読み取部と、該バーコード読み取部により電気信号に変換されたバーコード情報を解読してダイヤル番号情報を変換するバーコード解読部と、該バーコード解読部により解読されたダイヤル番号情報を蓄積するダイヤル番号蓄積部と、該ダイヤル番号蓄積部からダイヤル番号情報を取り出し通信回線接続端子を介して外部通信回線へダイヤルパルスまたはDTMF ( Dual Tone Multi Frequency ) のいずれかのダイヤル信号を送出するダイヤル信号発生部とを有することを特徴としたファクシミリ装置。

## 3. 発明の詳細な説明

## 産業上の利用分野

本発明は、ファクシミリ装置に関し、特に、相手先のダイヤル番号指定の簡素化に関する。

## 従来の技術

従来のファクシミリ装置は、原稿あるいはヘッダーシートにバーコード化された相手先のダイヤル情報を原稿あるいはヘッダーシートを走査することにより、読み取る機能を有するものはあるが、原稿あるいはヘッダーシート以外の部分のバーコード情報を読み取る機能は有していなかった。

## 発明が解決しようとする問題点

上述した従来のファクシミリ装置は、相手先毎に、原稿あるいはヘッダーシートに相手先のダイヤル番号をバーコード化して書き込む必要があるので、手間がかかるという欠点がある。

本発明は従来の上記実情に鑑みてなされたものであり、従つて本発明の目的は、従来の技術に内在する上記欠点を解消することを可能とした新規なファクシミリ装置を提供することにある。

## 問題点を解決するための手段

上記目的を達成する為に、本発明に係るファクシミリ装置は、原稿あるいはヘッダーシートを走査することなく原稿あるいはヘッダーシート以外の部分から相手先のダイヤル番号が符号化されているバーコードを読み取るバーコード読み取部と、該バーコード読み取部により読み取られたバーコード情報を解読してダイヤル番号情報に変換するダイヤル番号解読部と、該ダイヤル番号解読部により解読されたダイヤル番号情報を蓄積するダイヤル番号蓄積部と、該ダイヤル番号蓄積部に蓄積されたダイヤル番号情報を取出し外部回線に対してダイヤル信号を出力するダイヤル信号発生部とを備えて構成される。

#### 実施例

次に本発明をその好ましい一実施例について図面を参照して具体的に説明する。

第1図は本発明の一実施例を示すブロック構成図である。

第1図を参照するに、参照番号1はバーコード読み取部を示し、該バーコード読み取部1は相手先の

て画信号の送受信及びダイヤル信号の送出が行なわれる。

次に装置の動作を順を追つて説明する。

通信を行なう場合には、オペレータはまずバーコード読み取部1を操作することにより相手先のダイヤル番号が符号化されているバーコード情報を読み取る。読み取られたバーコード情報は、バーコード解読部2に入力されて、ダイヤル番号情報を変換され、ダイヤル番号蓄積部3へ送られてそこに蓄積される。続いてダイヤル番号蓄積部3に蓄積されたダイヤル番号情報は、1桁ずつ取り出され、ダイヤル信号発生部4へ送られ、送られたダイヤル番号情報に従つてダイヤルパルスまたはDTMFのいずれかのダイヤル信号が生成され、通信回線接続端子5から外部通信回線へ送出される。

呼が成立すると、送信の場合には、送受信制御部7は、原稿読み取部6から画信号を受取り、通信回線接続端子5から相手先の装置へ画信号を送信する。また受信の場合には送受信制御部7は、相手先のファクシミリ装置から画信号を受信し、記

ダイヤル番号が符号化されているバーコード情報を読み取り電気信号に変換する。2は、バーコード解読部であり、バーコード読み取部1から出力される電気信号に変換されたバーコード情報を解読してダイヤル番号情報に変換する。3は、ダイヤル番号蓄積部であり、バーコード解読部2から出力されるダイヤル番号情報を蓄積する。4は、ダイヤル信号発生部であり、本装置が発呼動作に移るとダイヤル番号蓄積部3からダイヤル番号情報を取出し、ダイヤル番号情報に従つてダイヤルパルスまたはDTMFのいずれかのダイヤル信号を送出する。5は、原稿読み取部であり、本装置にセットされた原稿を読み取り電気信号に変換し出力する。6は、記録部であり、相手先の装置から送られた画信号を記録する。7は、送受信制御部であり、原稿読み取部5からの画信号を相手先装置に送信し、かつ相手先装置から画信号を受信して受信された画信号を記録部6に送るという機能を有する。8は、通信回線接続端子であり、図示されていない外部の通信回線に接続されており、本端子を介し

録部6に画信号を送り、記録画が生成される。送信または受信が終了すると、本装置は動作を停止する。

#### 発明の効果

以上説明したように、本発明によれば、ファクシミリ装置に相手先のダイヤル番号が符号化されているバーコードを原稿あるいはヘッダーシートを走査することなく原稿あるいはヘッダーシート以外の部分から読み取るバーコード読み取部と、読み取られたバーコード情報を解読してダイヤル番号情報に変換するダイヤル番号解読部と、ダイヤル番号情報を蓄積するダイヤル番号蓄積部と、蓄積されたダイヤル番号情報を取出し外部回線に対してダイヤル信号を出力するダイヤル信号発生部とを付加して、あらかじめ電話帳、相手の名刺あるいはパンフレット等にバーコードを印刷しておくことにより、相手先のダイヤル番号を極めて簡単にかつ誤ることなく指定することができ、また電話帳を用いることにより相手先登録数に制限がなくなるという効果が得られる。

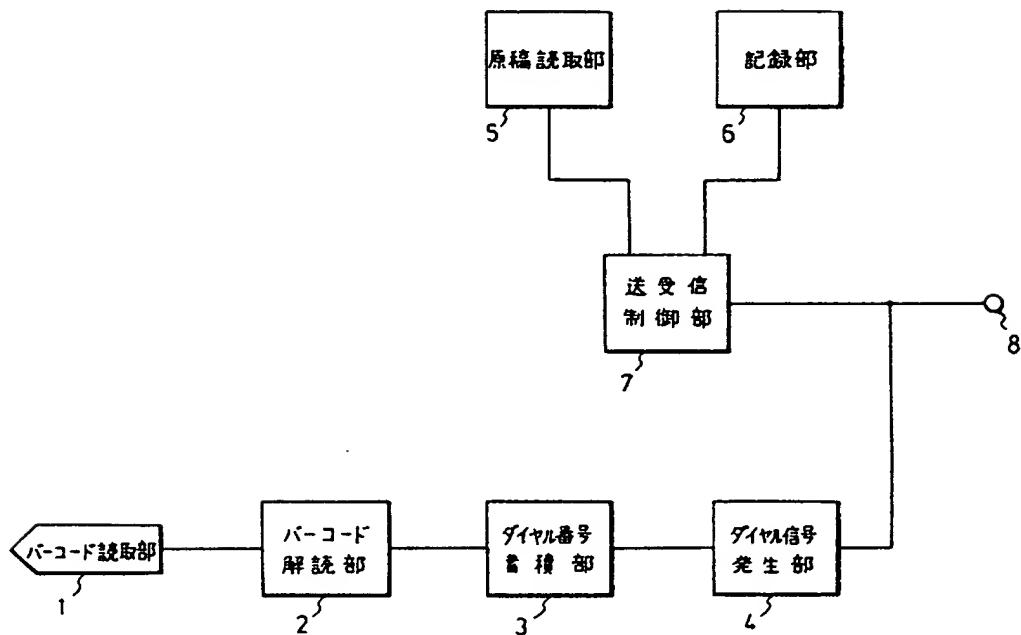
## 4. 図面の簡単な説明

第1図は本発明の一実施例を示すブロック構成図である。

1…バーコード読取部、2…バーコード解読部、3…ダイヤル番号蓄積部、4…ダイヤル信号発生部、5…原稿読取部、6…記録部、7…送受信制御部、8…通信回線接続端子

特許出願人 日本電気株式会社

代理人 弁理士 熊谷 雄太郎



第1図